# ソリューション特集
# Special Issues on Solution Business

## 変化するソリューション事業への対応

## Tackle to the rapidly-advancing Solution Business

執行役員　ソリューション事業本部長
荒　　健　次
Kenji Ara
Executive Officer
Solution Business Division

JRCのソリューション事業本部は，主に国土交通省，各地方自治体等の官公庁および民間企業等多くのユーザの方々に防災を中心とした各種システムを長年にわたり提供してまいりました。歴史を紐解けば，昭和24年に我が国初となるマイクロ波多重無線通信に成功してから昭和33年に7GHz帯多重無線通信装置，昭和35年に雨量・水位テレメータ装置を建設省（現国土交通省）に初めて納入して以来，約50年の間，無線通信技術の先駆者として，国内外のお客様に，幅広い分野で安全・安心を提供する多種多様のシステムをご利用頂いております。

当時より，お客様の要求する仕様や機能を満足する製品を開発し，単に納入するだけでなく，お客様が抱える問題の解決に役立つソリューションシステムの提供を心がけてまいりました。

しかしながら，現在においては，当時とは比べ物にならない程お客様のニーズや考え方は大きく変化してきております。地球規模の環境問題，財政難，少子高齢化等多くの問題を抱えており，政府は勿論のこと企業においてもこれらの問題抜きに事業を進めることはできず，ソリューションとしての重要性はますます高くなってきております。

ソリューションとは，「問題を解決すること」が本来の意味であり，その為には，お客様の業務を熟知し，お客様が抱える問題を詳細に分析する必要があります。JRCは，このような認識の下，常にお客様との信頼関係を築き，最良のシステム構築を心がけてまいりました。

ソリューション事業本部では，無線技術，情報技術，レーダー技術，ネットワーク技術，監視制御技術等多くの技術を有しており，更に他事業部の保有する専門的な技術も取り込み，JRCの持つ幅広い技術を結集することで，付加価値のある顧客本位のソリューションを提供しています。

今後は，これまで培ったノウハウや経験を生かし，変化するお客様の要望や環境等の問題に迅速に対応し，時代が求めるソリューションシステムを提供し続けたいと考えています。

今回の特集では，県の防災システムや気象レーダー等防災関連の防災ソリューション，各種無線システムを応用した無線ソリューションおよびソリューションを提供する上で必要な基盤技術に分けて，それぞれの取り組み事例についてご紹介いたします。